

はじめに

教育委員会では毎年、「札幌市学校教育の重点」を策定し札幌市の教育を推進しておりますが、重点の一つに「健やかな身体の育成」という大きな柱があります。この観点から考えますと、学校における体育の授業や休み時間の遊び、家庭や地域で日常的に行われる運動や遊び等を通じて、どの子にも自ら楽しく体を動かす機会を積極的につくり、体力を向上させていくことが大変重要であります。

このような背景のもと、本市では、文部科学省が平成21年度より立ち上げた「全国体力・運動能力、運動習慣等調査に基づく子どもの体力向上支援事業」の委託を受け、札幌の子どもたちの体力向上を図るために、具体的な支援事業を行うことといたしました。この支援事業は、平成20年度の調査結果をもとに札幌の子どもたちの体力についての分析を行うとともに、体力向上に向けた方策を検討し、その成果を札幌市の学校、教員はもちろん、すべての家庭に発信し、体力向上についての啓発を行うというものであり、その事業推進の中核組織が「体力向上支援委員会」であります。

子どもの体力・運動能力の低下が叫ばれる今日、本委員会では、「北国札幌の自然環境や社会環境、文化的な環境等、札幌の特色を十分に生かした子どもの体力づくりはどうあるべきか」、また「各幼稚園や学校で園児・児童・生徒の指導にあたる教職員等が分析結果を踏まえ、指導方法をどのように改善していくとよいか」等について討議を重ねてまいりました。

本報告書には、本市の子どもの体力の実情や、体力向上に向けて参考となる資料が掲載されております。各幼稚園、学校におかれましては、札幌市の子どもたちが生涯にわたって、運動・スポーツに自ら積極的に親しみ、体力を向上させ、豊かな生活を送ることができるよう、それぞれの目的に応じて御活用いただきますようお願いいたします。

終わりになりますが、本報告書の作成にあたりご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

平成22年 3月

札幌市教育委員会

指導担当部長 西村 喜憲